

会議名	第Ⅰ回 仮想化基盤及びインターネット・LGWAN関連システム構築業務委託プロポーザル選定委員会
日時	令和7年10月21日（火）午後2時から午後4時まで
場所	吹田市役所 高層棟9階 デジタル政策室第2会議室
資料	・次第 ・資料Ⅰ 仮想化基盤及びインターネット・LGWAN 関連システム構築業務委託事業者プロポーザル実施要領（案）（様式Ⅰ～様式Ⅸ含む） ・資料Ⅱ 仮想化基盤及びインターネット・LGWAN 関連システム構築業務 審査評価項目・配点基準（案） ・資料Ⅲ 仮想化基盤及びインターネット・LGWAN 関連システム構築業務 仕様書（案） ・資料Ⅳ 学識経験者意見聴取 意見及び対応
参加者	<委員> デジタル政策室長、デジタル政策室主幹、学務課長代理、市民課主査、教育センター主査 <事務局> 行政経営部 デジタル政策室

議事録	
< 発言者 >	< 発言内容 >
	<u>開会</u>
事務局 委員長 委員	< 事務局より資料の説明 > 質問・御意見があればお受けしたい。 プレゼン時間20分・質疑応答時間15分について、もう少し長い方が良いのではないか。
事務局	時間の許す範囲で長く設定したい意向はあるが、提案事業者が多いことが想定されるため、このような配分になっている。
委員長	提案事業者が多いという話があったが、選定の方法として、最優秀提案事業者及び次点者を決定するような記載となっているが、万が一、両者と契約できなかった場合に、3位の事業者と交渉することはできるのか。今の記載では、次点者までに決定しなければ、再度プロポーザルの実施となってしまうのではないか。
委員	足切りはしないということではよいか。提案事業者が多い場合はプレゼンテーション及び価格審査が1日に完了できない懸念がある。過去、足切りを設けた事例はあるが、それなりの理由付けが必要になる。
事務局	内容の複雑さ、書類審査を実施した場合のスケジュール感、また想定している参加事業者数を加味して足切りはしない方向で考えている。
委員長	ここまでの意見をまとめると、全提案事業者のプレゼンテーション及び価格審査をするかどうか、3位以下の事業者と交渉するかどうか、プレゼン・質疑応答時間をどうするか、の3点である。プレゼンテーション及び価格審査については、全提案事業者実施する方向でよいか。
事務局	承知した。
委員長	審査方法について、最優秀提案事業者及び次点者を決定するだけでなく、3位以下も決定する方向でよいか。
委員	提案事業者が多い中で、3位以下の提案を排除するのはもったいないと思う。
委員	スケジュール的に再度プロポーザルを実施するのは厳しい。
事務局	3位以下の事業者と交渉できるような記載に修正する。
委員長	プレゼン・質疑応答時間はどうか。
委員	提案書は事前に確認する時間があるので、プレゼン時間より質疑応答時間を重視した方がよいと思う。質疑応答はその後の契約にもつながる。
委員長	金額的にも高額なため、納得できるようにすべきである。総合的に考えて質疑応答時間は30分でよいか。
事務局	承知した。

濱田委員長

いただいた意見が多いため、後日に再度選定委員会を開催し、確認する形でよいか。

<異論なし>

閉会